

クイーンズランド州教育省 訪問

東京実業高等学校 二学年主任 小島 茂

1 はじめに

2019年9月5日午前9時、私立学校教員海外研修団は、2件目の視察先であるクイーンズランド州教育省〔Queensland Department of Education〕を訪問した。

クイーンズランド州教育省は、『OneSchool System』を公立のすべての学校に対して導入し、カリキュラムプラン、成績などの生徒の記録、学校予算等の管理を一元的に行っている。「教育におけるICTの活用状況」を主題として、どのように各学校がそのシステムを使い、データ分析、実行、振り返りといった一連の取組みの中で、授業計画やサポート計画が策定され、インターネットを介した保護者への連絡、プライバシー保護及びセキュリティなどが行われているのか説明を受けた。

2 説明概要

【1】 OneSchool System

(1) OneSchool Systemとは

①学生②カリキュラムと学習③パフォーマンス、報告及び分析④時間割と資源⑤金融と資産管理など様々な事項を管理し、クイーンズランド州における学校運営を幅広くカバーするシステムである。

州内には1,241の公立校があり、9,000人の教職員、560,992人の生徒がいる。これらに関する記録を全て繋げ、いつでもどこでもアクセスすることが可能となっている。



教育省より歓迎の言葉をいただく

(2) セキュリティ

OneSchool Systemの機密管理には注意を払っており、システムは非常に高いセキュリティで守られている。アイデンティティアクセスの保護管理を徹底し、役割や職務により、アクセス権限が限定的になっている。

(3) 学生情報の管理

OneSchool Systemでは、生徒の記録を一元管理し、共有している。生徒が転校しても情報は引き継がれる。

入力される生徒の情報は、①医療②NAPLAN（全国一斉テスト）③連絡先④照会⑤エクストラカリキュラム⑥キャリア⑦生徒詳細⑧学術⑨参考文献⑩サポート⑪行動

⑫出席などである。入力の方法は 2 通りで、外部からの入力、教員が直接入力するというものである。教員は、①診断と標準化された評価②連続したリテラシー③グループ化とメモ④サポート規定⑤パーソナライズされた学習⑥行動記録⑦EAL/D バンドスケール⑧欠席データ⑨アカデミック報告⑩マークブック⑪ユニットプラン⑫キャリアプランを入力する。

(4) ダッシュボード

生徒と学校のデータは、OneSchool System の様々な領域からの情報をカスタマイズして抽出することができる。生徒の情報は、個々のダッシュボードに格納されており、データの入力、出力が可能となっている。

クラスダッシュボード機能により、教員は生徒個人の情報の他、グループの情報を抽出することも可能である。クラスダッシュボードは 5 つのタブで構成されている。①クラスダッシュボード②分析③クラスプロフィール④クラスのグループ化⑤生徒メモである。グループのテスト情報を抽出し、分析に基づき生徒をクラス分けすることや、戦略的に学習を助けること、教員が生徒の到達目標などのコメントを書き込むことなどが可能となっており、データは過去 4 年まで遡ることができる。

校務関係者は、ダッシュボードビューを介して学校、クラス、生徒、インストラクター、財務データ等の関連データにアクセスすることができる。ダッシュボードは、パフォーマンスダッシュボード、クラスダッシュボード、リテラシー連続のダッシュボード、財務ダッシュボード、施設ダッシュボード、ICTダッシュボード等々があり、様々な角度からパフォーマンス、クラス、読み書き、財務、ICT の情報を得て、分析し、戦略的な意思決定につなげている。

(5) カリキュラムと学習管理

カリキュラムと学習管理を支援する機能として、①カリキュラムのリソースへのオンラインアクセス②クラスユニットとレッスン予定③コース設定と評価計画④ウィークリープラン⑤個別化カリキュラムのサポート⑥診断及び標準化された評価⑦クラスマークブックがある。これは、他の学校の教員も情報共有ができる。教員は、アセスメント、テストの点数、学期ごとの成績をマークブックに入力し、レポートの形で E メールや紙で保護者に情報提供する。

(6) 時間割とリソース管理

初等、中等、特殊学校において、生徒や教員のリソースを整理する機能として、①科目クラス②学生とスタッフのタイムテーブル③監督④試験の時間割⑤オンライン学生の科目選択⑥アルゴリズム設計⑦教員補助のタイムテーブル⑧遊び場の義務名簿がある。例えば、時間割と担当教員の情報を見ることで、今どの生徒が何の授業を受けているか、テストの内容、教員が生徒の情報を得て施した戦略は効果的かなどを確認することができる。

【2】OneSchool Finance

(1) OneSchool Finance とは

学校における財務および資産管理を一元化するためのシステムである。学校は、物資購入・請求、銀行取引、資産・施設管理等を入力し、州で中央管理する。

1,280校が利用しており、学校によっては税金が免除される。49の機能を有し、学校の役職によってアクセス権限が限られている。

集中管理された勘定体系と管理会計（原価対象）構造となっており、問い合わせに応じてアクセスできる。

(2) 高レベルの財務設計要素

学校が管理するものは、①銀行口座②財務データの入力と承認（1日平均83,864件の取引）③負債④資産などである。

州は、OneSchool Financeにより、①毎日の銀行へのEFTの支払い②バッチ処理③年末のロールオーバーなど支払いの管理を行う。学校の納入業者への銀行送金は、1日320万ドルにのぼる。

学校財政モジュールとしては、①経理（総勘定元帳・仕訳、買掛金、固定資産、銀行照合、サブコストセンターの作成、ビジネスアクティビティステートメント報告書の取得、製品の作成とメンテナンス）②法人カード・法人カード取引の調整③調達・購買依頼の作成と発注書の管理④インカムマネージャー・領収書と銀行の準備に使用⑤顧客と販売・顧客の検索と顧客の取引の表示、明細書の発行、クレジットとの調整、請求書のコピーの生成⑥マイタスク・ワークフロータスクの管理⑦レポート・エクセルにエクスポート可能なブラウザレポートなどがある。

【3】QParents System

QParents Systemにより保護者は子供の出欠席、学費納入金、学校での行動、成績、時間割、学校行事のカレンダーの情報に24時間いつでもアクセス出来る。

アクセスの方法は、①学校が保護者に参照コードを含む「招待状」を提供②保護者は参照コードと子供のクイーンズランド教育識別番号と身分証明書を提供し登録プロセスを完了③学校が保護者の登録を確認および承認④QParentsで閲覧するというもの。



ICT 教育についての説明

【4】Cybersafety and Reputation

ソーシャルメディアとインターネットの安全で積極的な使用を促進するため、マネージメントチームがサイバー安全情報を生徒、教員、保護者に提供し、学校を積極

的にサポートしている。

チームは州全体で4人。学校にチームが出向き、4年生から12年生の生徒にインターネットの注意点、ソーシャルメディアでの行動をプレゼンテーションする。

チームの実績として、クイーンズランド州内の公立校に関して、1月から8月の間に480件のネット問題（ネット上のいじめ、暴行のビデオ、偽アカウント、中傷、脅し、脅迫等）に対応し、教員へ支援やアドバイスを行った。

【5】 Digital Capabilities Training Team

デジタル機能トレーニングチームを設置している。チームはクイーンズランド州全体の教員と連携し、教員の教室での効果的な通信技術（ICT）の使用をサポートしている。

【6】 OneDrive for Business

システムのどこに何の情報があるか分からない問題点を解決する為に、情報の格納場所をクラウド上に設定し、誰でもアクセスできるようにしている。

OneDrive for Businessに追加されたファイルは、誰に対して共有するか、情報を追加した教員が設定することができる。

【7】 OneNote Class Notebook

OneNote Class Notebookは、オンラインで作成するOneNoteの特別なタイプである。「コンテンツライブラリ」は、授業で必要な教材を生徒にワンクリックで配布することができる。「学生用ノート」は、生徒の作業に使用する。「コラボレーションスペース」は、グループワークで作業する際に使用するもので、教室での授業のやり方がこれによって変わった。

3 おわりに

クイーンズランド州では、OneSchool Systemによって公立学校での生徒のデータが1つのシステムで管理され、様々な観点から分析、支援できるようになっており、その取り組みに驚きを感じた。

オーストラリアの教育改革の成果を知り、今後ICT教育で教育効果を出すためにどのような使い方の工夫が出来るかを追究し、自校の授業やキャリアセンターを更に充実したものとし発展させるべく努力してまいりたい。

またこの研修で学ぶ機会を与えて下さった方々に心より感謝申し上げます。



説明終了後に全員で記念撮影